

地域予選競技会及びロンドンオリンピック代表選手選考について

《 総合馬術競技 》

平成23年4月13日

選考の手順（両大会共通）

当基準に則って審査し、オリンピック等対策委員会の承認を得て、理事会で決定する。
なお、競技会期間中にチーム競技対象人馬を選考する場合は、監督に選考を一任する。

第30回オリンピック競技大会（2012/ロンドン）

2012年7月27日－8月12日（イギリス・ロンドン）

派遣予定数 5人馬

【代表となるための条件】

1. 第1次参加申し込み(JEFへの選手名の申込)を2011年12月28日までに完了していること。
2. 第2次参加申し込み(JEFへの馬匹名の申込)を2012年3月31日までに完了していること。
3. 選手は、JOCへの推薦締切日の約2週間前までに日本馬術連盟ナショナルチームのメンバーに認定されていること。
4. JOCの推薦締切日の約2週間前までに人馬のコンビでFEI出場最低基準（以下:MES）を取得していること。
5. 馬匹は、2012年4月1日時点で日本馬術連盟の登録馬であること。
6. 2011年12月31日時点でFEIパスポートの馬匹所有者が日本国籍であること。
7. JOC推薦の締め切り前の指定の期間内に、出場できる状態であることを証明した獣医師の診断書を提出すること。
8. 馬匹の年齢は、2012年において8才以上であること。

【選考基準】

1. チーム出場権利を取得した場合
 - i. 地域予選競技会でMESの資格認定成績（ただし、馬場馬術は減点68点以内）で完走した日本チームの上位3人馬を代表として内定し、代表となるための条件を満たした時点で代表人馬とする。ただし、2012年1月1日以降、選考までにMESの認定成績を満たして完走していること。
 - ii. 上記 i の内定後、最大派遣人馬数（5人馬）を満たすため、代表となるための条件を満たす人馬の中から下記の優先順位により選考する。なお、内定人馬と条件を満たす人馬の合計が5人馬以内の場合は、その人馬をもって代表とする。ただし、2012年1月1日以降、選考までにMESの認定成績を満たして完走していること。

①CCI4*のMES認定成績を満たした競技会における順位の高い人馬

②CCI3*のMES認定成績を満たした競技会における順位の高い人馬

- iii. 上記 i および ii による選考結果、最大人馬数に満たない場合は、代表となるための条件を満たす人馬の中から上記 ii の優先順位により選考する。

※ MES: FEI出場最低基準

CCI4*において1回のクオリファイ または

CCI3*において1回およびCIC3*において1回のクオリファイ

なお、CIC3*はCCI3*でもよい

※ クオリファイのための認定成績:

馬場馬術 減点75点以内

クロスカントリー 障害減点20点以内で完走、CICでは減点0点で完走

規程タイム超過は、3*では90秒以内、4*では120秒以内

障害馬術 減点16点以内

iv. 各条件で同順位の場合は、各人馬がMESを満たした最も良い競技成績の内、以下の優先順位で選考する。

- ①クロスカントリーでの減点の少ない人馬
- ②障害馬術での減点の少ない人馬
- ③馬場馬術の最終得点率が高い人馬

(注) チーム出場権利を獲得した場合、2011年11月1日までに条項の追加削除を行うことがある。

2. 個人出場権利を取得した場合

- ・ 個人出場権利を得ることとなった当該人馬を代表とする。
- ・ 上記当該人馬が出場不可能な場合は、MESを取得している人馬より、2011年1月以降に出場したCIC3*以上の競技実績を基に、JOCへの推薦締切日の約2週間前を目途としてチーム選考と同じ基準で選考する。

地域予選競技会（グループF/G）

開催日程・場所 2011年 9/8-11 Blenheim（イギリス）

派遣予定数 5人馬（今後公表される実施要項によって増減あり）

【代表となるための条件】

1. 人馬での参加申し込みをJEF事務局あて2011年6月30日までに完了していること。
2. 地域予選競技会に出場できるFEI資格のある人馬であること。
3. 地域予選競技会に出場する馬匹を選手の責任において輸送できること。（輸送費は自己負担、参加料は日本馬術連盟が負担する）
4. 地域予選競技会開催日の約1か月前（指定の期間内）に、出場できる状態であることを証明した獣医師の診断書を提出すること。
5. 人馬とも参加申し込みの時点でFEIおよび日本馬術連盟に登録があり、馬匹は7才以上であること。

【選考基準】

1. 代表となるための条件を満たす人馬が出場可能頭数を超える場合、2011年1月1日から7月31日までに開催されるCCI2*以上の最も良い順位を得た競技会の実績を基に以下の優先順位で選考する。なお、認定成績とは、MESにおける資格認定成績を準用。
 - ①CCI3*の資格認定成績を満たした競技会における順位の高い人馬
 - ②CIC3*の資格認定成績を満たした競技会における順位の高い人馬
 - ③CCI2*の資格認定成績を満たした競技会における順位の高い人馬
 - ④上記①～③で決定しない場合、2010年1月～12月までに参加した競技会における順位の高い人馬
2. 各条件で同順位の場合、各人馬の最もよい成績を以下の優先順位で選考する。
 - ①クロスカントリーでの減点の少ない人馬
 - ②障害馬術での減点の少ない人馬
 - ③馬場馬術の最終得点率が高い人馬